

Concept Book



トヨタカローラ香川株式会社



本社 香川県高松市丸の内町 94
 代表者 代表取締役 山内 良太郎
 設立 1998 年 1 月
 店舗 ジョームス事業部・新築事業部
 ジョームスレインボーロード店
 ジョームス宇多津店、計 2 店舗



トヨタカローラ香川株式会社

本社 香川県高松市丸の内町 94
 代表者 代表取締役 山内 良太郎
 設立 1966 年 3 月
 店舗 香取・美ノオアシス・本社発祥・空想通り
 国分寺・宇多津・香通寺インター・観音寺
 フォルクスワーゲン香川 計 9 店舗

ネットトヨタ高松株式会社

本社 香川県高松市香西町 404-1
 代表者 代表取締役 野倉 一
 設立 1992 年 2 月
 店舗 平しの木・もみの木・まつの木
 マコエ工、計 4 店舗



「社会理念を見直そう」という思いがあったのが2019年の頃でした。
 自動車業界は100年に一度の大変革期を迎え、EV/AV/自動車を軸とした
 各自動車メーカーも激変的なビジネスモデル変革が進んでいます。
 当人も、従来からの強みらしい経営理念はあるものの、21世紀に測した表現や考え方に
 進化しないといけないと同時に、自分で本当に好きだった言葉でないと
 社員の皆にもスピーチホールドにも伝達しにくいと感じていました。
 地域の皆様がこれから本当に困ることは何だろう、当社が21地域に親近し
 愛される会社であり続けるにはどうしたらいいだろう、
 そしてそれが言葉だけの形骸的なものではなく、広く社員にも伝達し実践し
 体験できる組織にならないと成長する意味はありません。

最初に思ったことは「ニーズ（必要性）」ではなく「ファン（愛着性）」で
 実現したい、ということでした。21地域の皆様がファンになるが、
 地方ならではの社会的課題が解決に向かうには十分な余力を、そんなワケナキの中で
 当社としての存在価値やお役立ちができる事は多々あるのではないかと。

様々な時代の変化要因があり、未来がなかなか見えない状況でも変わらないもの、
 それは昨今のコロナ禍ですます停歩が上がり始めた「移動できる車」
 「移動できる利便性」という移動そのものが提供できる価値にありました。

同時に、当社独自のアンケートで驚きの発見がありました。
 四国を自らの1000名に「移動に関するお困りごと・ニーズ」を調査した結果
 上位を占めたのが「おきたいところがない」ということでした。
 単なる移動手段の提供ではなく、移動の目的地作りと移動の楽しさ作り、この両面で
 社会的解決をしていかなければいけない地方は活性化しないと確信できた瞬間でした。

そしてその課題は、従来の自動車販売会社の顧客である「免許保有者」という範囲だけでは
 解決しないものでした。たとえ免許高齢者の方でも移動ファンがある方がいる限りは、その思いを
 反映に叶えられるべきものです。数千人が数千人に合った移動手段の選択権を握る持ち、
 安心安全無料にそのメリットを享受できる社会を当社は目指しています。

自動車業界では今後も数多くの変化点が見られるでしょう。
 技術革新によるCASE・MaaSの発展、スモールモビリティによる生活のやり方、
 少子高齢化社会の到来、SDGやカーボンニュートラルの実現、
 そんな環境変化の中で、変わらざるべき地域の価値に思っていたのは存在であり続けるための、
 その思いや価値を本コンセプトマップという形でご紹介しております。

是非ご一読いただき、今後変わらぬご愛顧と応援を賜りますようお願い申し上げます。



トヨタカローラ香川株式会社
 代表取締役社長
 向井 良太郎



叶えたい思い
 Mission

生涯顧客創り事業を通して

「より豊かなモビリティライフ」と

「安全・安心・信頼」を提供し続け

地域に根差し応援される会社であり続ける。

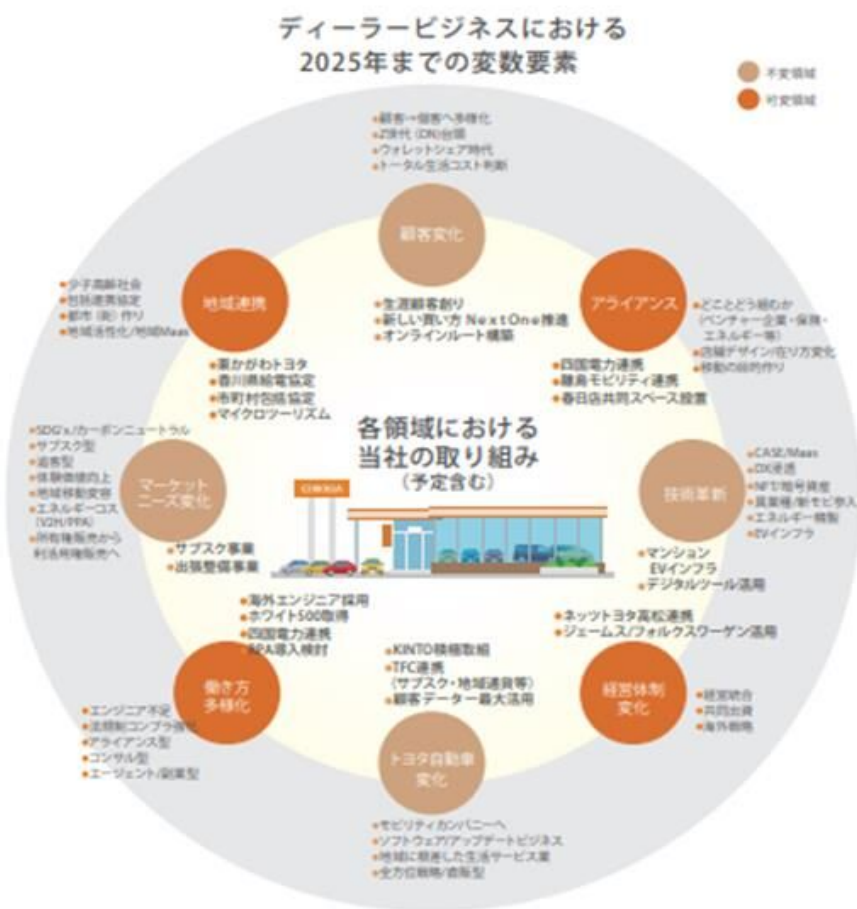
Value

- ① 自身をより成長させようとする向上心
- ② お客様の生涯に渡って常に価値ある提案ができるプロ意識
- ③ 全員で徹底し、教え学びあい、刺激しあえる組織風土
- ④ 変化と改善をし続ける挑戦心
- ⑤ 地域の人々や社会に対する貢献心



01 今後の外部環境の変化

中長期にかけて下記のような変化が訪れると予想されるため
当社としては下記のような取り組みを実施する



02 外部環境に適したカローラ香川の姿

地域の移動課題を進化するモビリティを活用して、
生活をより豊かにするサービスを気軽に体験できる会社に



03 今後の弊社のあるべき姿

従来のディーラーの提供価値を拡張させることで
地域やお客様の課題を解決し、ウォンツを創っていく

従来のディーラーの姿 ＜従来の機能的価値＞

<p>新車/中古車に対する 試乗・相談・購買機能</p> 	<p>点検や故障対応といった アフターサービス機能</p> 
<p>購入に付随する 保険・割賦等のVC機能</p> 	<p>様々な催しが開催される イベント機能</p> 

ディーラーの保有する機能も拡張していく



店舗という機能や
顧客情報資産を活用したコト消費で
モビリティベストマッチングを提供

function 1 移動ハブ機能

- EVインフラ機能
- 車両アップデート機能
- サブスク機能
- シェアリングスポット機能
- 新モビ体験機能



function 2 生活サービス機能

- 敷居の低いCaféや生協機能
- エネルギー最適活用コンサル機能
- 地域事業とのマッチング機能
- デリバリー機能(人/モノ/サービス)
- 暮らしの相談窓口機能



function 3 移動ソリューション機能

- 移動データを活用した地域活性化
- 街作りへの参画
- 他社との相互送客
- ライドシェア等の移動連携
- 出かける目的作りによる移動活性化



04 今後の地域の皆様とのかかわり

カローラ香川1社だけでなく、地域の様々な企業様と連携しながら、より良い地域を創っていく



05 カローラ香川が取り組んでいること

地域の課題解決やウォンツの創出に向けて、
下記の取り組みに挑戦している

レモック RMLHスマートメンテ

サービスミッション

香川県を「正しい状態で走るクルマが日本一多い県」にする。

事業内容

法人のお客様向けに「お仕事中の点検・整備」サービスを実施しております。
また、一部の店舗ではお客様向けの出張点検サービスも展開しております。

導入先 西村ジョイ株式会社様



BEV普及に向けたサービス開始

事業内容

四国電力様と連携し、EV普及促進に向けた充電インフラの実証実験を開始。
マンション住民の方でも、気軽にマイカー充電が使用できるように、マンション専用の個人契約型充電設備の開発に協力。(すべてのマンションに設置できるものではありません)



瀬戸内国際芸術祭観光ツアー

事業内容

2022年度の舞台である豊島は、多くの自然やアートが共生する、非常に魅力あるスポットです。県内でも訪れていない方も多いため、私たちは新しいモビリティの提供を通して、自然とアートを体感いただき、より豊かな地域づくりを進めてまいります。



土庄町とのSDG's連携協定



事業内容

2021年3月、瀬戸内国際芸術祭の開幕を控えた小豆島の土庄町とSDG's推進協定を締結。
サステイナブルな観光地創出を目標とし、小型モビリティを活用した観光支援や、医療体制が脆弱な離島での医療者搬送支援等を実施。

